

横須賀ジャガーズが初優勝

2014「専修大学カップ」
神奈川県学童軟式野球選手権大会

地域貢献の一環として、スポーツを通じて神奈川県内の子供たちの健全な育成を支援する2014「専修大学カップ」神奈川県学童軟式野球選手権大会(神奈川県野球連盟共催)が8月1日から7日まで、境川遊水地公園少年野球場(横浜市)などで開催され、県内各地区の予選を勝ち抜いた54チームが熱戦を繰り広げた。優勝は横須賀市代表の横須賀ジャガーズで、初の栄冠に輝いた。



▲ 馬場経営学部長が優勝旗を授与



▲ 優勝の横須賀ジャガーズ

決勝は、各地で記録的な猛暑となった7日、平塚球場(平塚市)で行われた。

横須賀ジャガーズと南野川ブルーアローズ(川崎市宮前区代表)による決勝戦は、南野川ブルーアローズが一回表に1点を先制。二回裏には横須賀ジャガーズが同点に追いつき、その後南野川ブルーアローズが五回表に3点を追加し引き離すも、その裏横須賀ジャガーズも2点を返した。南野川ブルーアローズ1点リードのまま、最終七回裏の横須賀ジャガーズの攻撃。ノーアウト一、二塁で送りバント。一塁への送球がそれ2点入り、5-4。横須賀ジャガーズがサヨナラ勝ちで初優勝を飾った。

同チームの三浦崇監督は「まさか勝つとは思わなかった。最終回のバントは劇的だった。みんなのヒットをつなげようという気持ちで、この結果を生んだと思う。横須賀市代表として恥じないように頑張ってきた」と優勝の喜びを語った。



▲ 準優勝の南野川ブルーアローズ

表彰式・閉会式が行われ、優勝チームには馬場杉夫経営学部長(大会会長代行)から賞状、優勝旗、優勝カップが、神奈川県少年野球連盟会長の鈴木一誠大会副会長から賞状、優勝盾が贈られ

た。続けて、優秀選手賞に横須賀ジャガーズの齊藤悠大選手(6年生)、敢闘賞には南野川ブルーアローズの藤井貴也選手(6年生)がそれぞれ選ばれ、県野球連盟から表彰された。

8月1日、横浜スタジアムで行われた開会式で、矢野建一学長(大会会長)が「明日からは大変暑い中での試合となりますが、自分たちの目標に向かって練習の成果を発揮し、野球ができることに感謝し、最後には最高の笑顔になれるよう、悔いなく力いっぱいプレーすることを誓います」と力強く選手宣誓した。

最後に、本学全学応援団チアリーダー部をはじめ、専修大学附属高等学校、専修大学松戸中学校及び高等学校のチアリーディング部合同による約120人がダイナミックな演舞を披露、元氣いっぱい選手にエールを送った。

司会は、開会式・閉会式ともにアナウンサー講座(本学就職部主催)受講生に思いを込めて、良い経験となり、今後の糧にしたいと思いを話した。

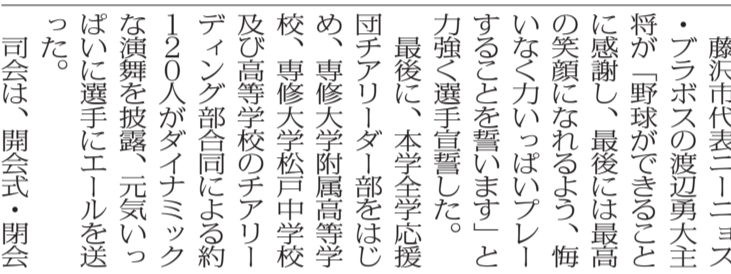
優勝チームは、8月22日にテレビ神奈川(tvk)の昼のワイド番組「ありがとッ川(tvk)の地域・情報番組「tvk NEWS!」に出演し喜びを語り、EWS「ハーバー」に出演し、2014「専修大学カップ」を振り返り、9月末には、大したほか、本学の教育会を振り返るダイジェスト映像版を本学ホームページで公開予定。

馬場杉夫経営学部長(大会会長代行)は8月15日にテレビ神奈川(tvk)の地域・情報番組「tvk NEWS!」に出演し、2014「専修大学カップ」を振り返り、9月末には、大したほか、本学の教育会を振り返るダイジェスト映像版を本学ホームページで公開予定。

「小中学生から高校生までは野球選手としてプレーをしてきましたが、今回はオール専修チアリーダーの演舞

夢の舞台に立てたことを光栄に思います。良い経験となり、今後の糧にしたいと思いを話した。

司会の都合で



熱戦プレーバック

